出力日：2026年11月04日

大学出版部協会フェア　2026《東京大学出版会・5点》

フェア期間：2026年11月11日～2027年1月18日

1



近現代日本史　幕末維新から第一次世界大戦まで

税込￥2,640
KDC:A39
KDC:KINOPPY

樋口真魚:飯島直樹　　NDC:210.6

2026/03　東京大学出版会　２５８ｐ　A5 21cm

ISBN:9784130220293　情報詳細へのリンク

帝国議会、政党、立憲君主制はなぜはじまった？日本はどうやって植民地帝国になった？戦前日本の産業はどのように発展した？大学の教養課程学生、歴史好きの高校生や学び直したい社会人、歴史教員に向けたテキスト。

2



近現代日本史　世界大戦間期から冷戦終結まで

税込￥2,640
KDC:A39
KDC:KINOPPY

樋口真魚:飯島直樹　　NDC:210.6

2026/03　東京大学出版会　２８８ｐ　A5 21cm

ISBN:9784130220309　情報詳細へのリンク

なぜ日本は満洲事変後に国際連盟を脱退した？戦争が長く続いたことで日本の社会はどう変わった？敗戦後の日本はどのように国際社会に復帰した？大学の教養課程学生、歴史好きの高校生や学び直したい社会人、歴史教員に向けたテキスト。

3



リベラリズム :基礎からフロンティアまで

税込￥3,190
KDC:D21
KDC:A11
KDC:KINOPPY

宇野重規:加藤晋　　NDC:309.1

2026/01　東京大学出版会　３０４ｐ　A5 21cm

ISBN:9784130331135　情報詳細へのリンク

社会が不安定化するなか、リベラリズムの果たすべき役割とは何か。３１のキートピックと２１の著作解説により、個人の自由や多様性を尊重し合意を模索していく社会の基盤となる現代リベラリズムを、基礎から実践まで包括的に理解する。待望のハンドブック。

4



建築のラグジュアリー :物質と構築がつむぐ建築史

税込￥3,960
KDC:F83
KDC:KINOPPY

加藤耕一　　NDC:523

2025/11　東京大学出版会　３８６ｐ　46 20cm

ISBN:9784130611466　情報詳細へのリンク

人びとに愛され、生き続ける建築とは。時間変化にさらされる「物質（モノ）」としての建築と、時間をこえて続く「建てる技芸（アート）」としての建築。ふたつの視点から西洋建築の歴史をとらえなおし、スクラップ＆ビルドありきの建築観を脱して真に豊かな建築文化のありかを示す。

5



東大物理の歩き方

税込￥3,300
KDC:F21
KDC:KINOPPY

小林研介:竹内一将　　NDC:420

2026/04　東京大学出版会　２４０ｐ　A5 22cm

ISBN:9784130636117　情報詳細へのリンク

執筆者はなんと全員「東大物理」の教員！２７のトピックで完全攻略！！現代物理学の最先端。

Copyright (C) 2026 株式会社紀伊國屋書店